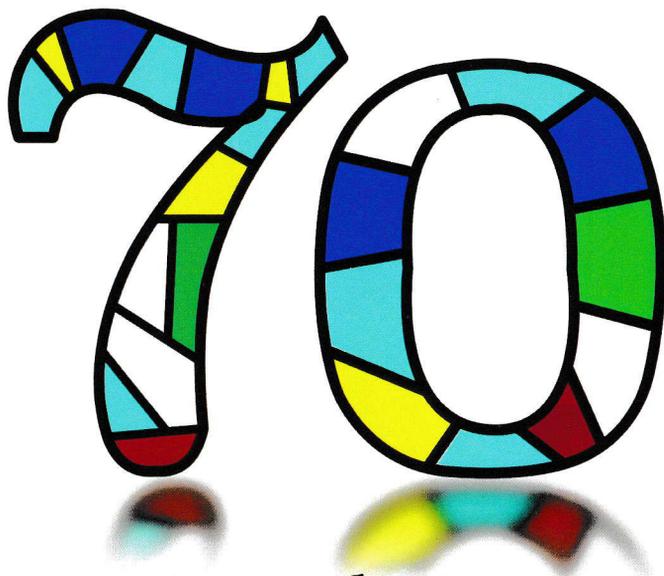


霊南坂スカウト 70周年記念礼拝式典



Reinanzaka Scout

1947~2017

2017年4月29日午後2時

霊南坂教会礼拝堂

ボーイスカウト東京港第1団

ガールスカウト東京都第4団

4 聖詩念誦半圓の下のやぐさ遊南童
やさしい日が

【田村】

千鶴奈 共今 奏奏

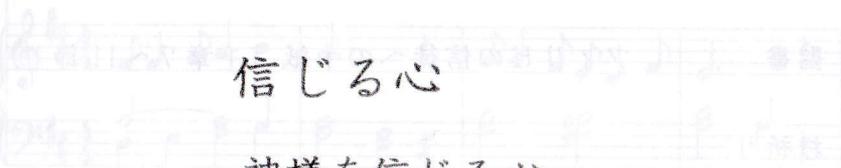
美穂 山少 全同

美穂 山少 全同

美穂 山少 全同



1 やさしい日 が 暮よらかな日 が
2 おおきな手 が 10月1日のあつたが 津美路
3 かぎりのな い 10月1日のあつたが 津美路



信じる心

神様を信じる心

和歌 美穂 山少 全同



仲間を信じる心



自分を信じる心



靈南坂スカウト70周年記念礼拝

奏楽 今井 奈緒子

司会 小山 睦美

前奏

讚美歌 470 やさしい目が

聖書 フィリピの信徒への手紙 1章7～11節

お祈り

お話 「共に恵みにあずかるために」 後宮 敬爾 牧師

讚美歌 第二編 189 丘の上の教会へ

献金

献金のお祈り

主の祈り

頌栄 24 たたえよ、主の民

祝祷

後奏

詞：深沢秋子、1931-

YASASHII ME
曲：小山章三、1930-

1 やさしい目が、 きよらかな目が、
2 おおきな手が、 あたたかい手が、
3 かぎりのない ひろいところが、

きょうも わたしを みていてくださる。
きょうも わたしを ささえてくださる。
きょうも わたしを まもってくださる。

「まっすぐに あるきなさい」と みていてくださる。
「はなれずに あるきなさい」と ささえてくださる。
「やすらかに あるきなさい」と まもってくださる。

せいしょ
聖書

しんと てがみ しょう せつ
フィリピの信徒への手紙 1章 7～11節

わたしがあなたがた一同^{いちどう}についてこのように考えるのは、当然^{とうぜん}です。というのは、監禁^{かんきん}されているときも、福音^{ふくいん}を弁明^{べんめい}し立証^{りっしょう}するときも、あなたがた一同^{いちどう}のことを、共に恵み^{めぐみ}にあずかる者^{もの}と思^{おも}って、
心^{こころ}に留^{とど}めているからです。わたしが、キリスト・イエスの愛^{あい}の心^{こころ}で、あなたがた一同^{いちどう}のことをどれほど思^{おも}っているかは、神^{かみ}が証^{あか}しして
くださいます。わたしは、こう祈^{いの}ります。知る力^しと見抜^{ちから}く力^みとを身^みに着^つけて、あなたがたの愛^{あい}がますます豊^{ゆた}かになり、本^{ほん}当^{とう}に重^{じゅう}要^{よう}なこ
とを見分^みけられるように。そして、キリストの日^ひに備^{そな}えて、清^{きよ}い者^{もの}、
とがめられるところのない者^{もの}となり、イエス・キリストによって与^{あた}え
られる義^ぎの実^みをあふれるほどに受^うけて、神^{かみ}の栄光^{えいこう}と誉^{ほま}れとをたたえる
ことができるように。

LITTLE BROWN CHURCH
 曲: William S. Pitts, 1830-
 (編曲) 編集委員会, 1967

調: 阪田寛夫, 1967

♩ = 112 おかのうえのきょうかいへのぼる石だたみはる
 (おりかえし)
 はさくらははなびらてのひらにうけてのぼるほら
 さやかにやさしくベルはなりわた
 デイン ドン デイン ドン デイン ドン デイン ドン デイン ドン
 デイン ドン ああ なつかしいきょうかいへきょうこそみんなでかえろ

詩篇 84

1

丘の上の教会へ のぼる石だたみ、
 春は桜のはなびら、
 手のひらにうけてのぼる。

(おりかえし)

(ほら、デイン ドン、デイン ドン・・・)
 さやかにやさしく
 ベルは鳴りわたる。
 ああ、なつかしい教会へ
 きょうこそみんなで帰ろう。

2

夏はみどりさわやか 陰も涼しくて、
 高く口笛吹いては、
 肩組み合わせてのぼる。

3

丘の上を望めば 空に羊ぐも、
 秋の陽をあびてひかる、
 煉瓦の塔の十字架。

4

雪の降る夜みんなで 歌声あわせた、
 小さいときの思い出が、
 いまこころに鳴りひびく。

主しゅの祈いのり

てん 天にましますわれわれの父ちちよ、

ねがわくはみ名なをあげめさせたまえ。

くに きた みに国くにを来きたらせたまえ。

てん みこころの天てんになるごとく

ち 地ちにもなさせたまえ。

われ にちよう かに きょう あた 我らの日用にちようの糧かてを、今日きょうも与あたえたまえ。

われ つみ ものに われ 我らわれに罪つみをおかす者ものを 我らわれがゆるすごとく、

われ つみ 我らわれの罪つみをもゆるしたまえ。

われ 我らわれをこころみにあわせず、

あく すく いた 悪あくより救すくい出いたしたまえ。

くに さか 国くにとちからと榮さかえとは

かぎ 限りかぎなくなんじのものなればなり。

アーメン。

礼拝 頌栄
たたえよ、主の民

[I 539]

Praise God, from whom all blessings flow
詞：Thomas Ken, 1637-1711

OLD100TH
曲：ジュネーブ詩編歌、16世紀

た た え よ、主 の た み、み つ か い と と も に、

め ぐ み に あ ふ れ る ち ち ・ 子 ・ せ い れ い を。

(♩=66)

た た え よ、主^{しゅ}の^{たみ}民、み つ か い と 共^{とも}に、
恵^{めぐ}み に あ ふ れ る 父^{ちち} ・ 子^こ ・ 聖^{せい}霊^{れい}を。

詩117 II コリ13:13

ア - メ ン。

靈南坂スカウト70周年記念式典

司会 小崎 信

オルガン演奏

今井 奈緒子

開会の言葉

旗の入場

ボーイスカウト 世界スカウト旗・隊旗

ガールスカウト 世界連盟旗・団旗

靈南坂スカウトクラブ旗

やくそく・ちかい・「そなえよつねに」

ボーイスカウト一同

やくそく

・「やくそくのうた」

ガールスカウト一同

挨拶

ボーイスカウト東京港第1団

名誉団委員長

杉原 正

靈南坂スカウトによるソング

来賓祝辞

ボーイスカウト日本連盟歌 「花はかおるよ」

来賓・友好団紹介

祝電紹介

ガールスカウト世界連盟歌 「すすむ道は」

歴代靈南坂スカウト紹介

団委員長

内藤正樹

古谷久代

召天者のための祈り

井上

創 牧師

靈南坂スカウト団歌

旗の退場

閉会の言葉

そなえよつねに

堀内敬三 作詞
Giordano 作曲

Moderato



1. み つ の ち か ら い め い よ
2. つ よ き か ら だ か た き



か け て ボ ー イ スカウト
こ こ ろ ボ ー イ スカウト



お き て ま も り ひ と の た め に
き ず た て て こ の よ の た め



そ な え ー よ つ ー ね に
そ な え ー よ つ ー ね に

1. 三つのちかい 名誉かけて ボーイスカウト

おきて守り 人のために そなえよつねに

2. 強き体 かたき心 ボーイスカウト

築きたてて この世のため そなえよつねに

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟歌

The World Song of The World Association of Girl Guides and Girl Scouts

Gravin Ewart 作詞

Jean Sibelius 作曲

野口綾子 訳詞



1. す す む み ち は が や き た
2. ぜ ん と ま こ と あ い し お き

英語

1. Our way is clear as we march on, And
2. All those who loved the true and good, Whose

フランス語

1. En - sem - ble mar - chons vers l'a - ve - nir En chan -
2. Le trè - fle d'or sur le dra - peau bleu Flotte au



か き は た は く ま な く ひ
て を ま も り や さ し き お

see! our flag on high is nev - er furled through -
prom - is - es were kept, With hum - ble mind, whose

tant dans le so - leil. Nous pro - met - tons de
vent de tous les ciels. Nous ac - cou - rons d'un



る が え り き ぼ う は と わ に た だ
こ な い め い よ に か け て ひ と

out the world For hope shall nev - er die! We
acts were kind, Whose hon - our nev - er slept. These

tou - jours ser - vir En un mon - de fra - ter - nel. Et nos
é - lan joy - eux Où re - ten - tit son ap - pel. For - mant



し き に む す ば る る ゆ う じょう は つ よ
 の た め ま ご こ ろ を そ な え よ つ ね
 must u - nite for what is right in friend - ship true and
 were the free! And we must be Pre - pared like them to
 voix u - nies par de - là les mers S'é - lè - vent de tou - te la
 de nos mains pour le monde en - tier La chaî - ne de notre a - mi -



し - り そ う の よ を い ま そ わ れ ら う
 に - へ い わ と じ ゆ う の た め わ れ ら さ
 strong, Un - til the earth in its re - birth Shall
 live, To give to all, Both great and small All
 ter - re. Dans l'a - mour et la joie Nous sui - vons no - tre loi Pour
 tié. Dans l'a - mour et la joie Nous sui - vons no - tre loi Pour



ち た てん う ち た てん
 さ げ ん さ さ げ ん
 sing our song! Shall sing our song!
 we can give! All we can give!
 é - tre prêtes. Pour é - tre prêtes.
 é - tre prêtes. Pour é - tre prêtes.

1. 進む道は かがやき

高き旗はくまなくひるがえり
 希望は永遠に
 正しきにむすばるる
 友情は強し
 理想の世を今ぞ
 われらうちたてんうちたてん

2. 善と真愛し

おきてを守り
 やさしき行為おこしい
 名誉にかけて
 ひとのためまごころを
 そなえよつねに
 平和と自由のため
 われらささげんささげん

靈南坂スカウト団歌

靈南坂スカウト 志水 功 作詞
作曲

G

1. か みら とく に と に ま こ とを つみ
2. か みら だを き た え ま こ こ とを

G G7 C G

く し お き て を まし も り ひ と
が し き お き て を や まし も り ひ と
ね

C D G C

を た す け る ぼ く た ち スカ ウ ト の
に そ な え る ぼ く た ち スカ ウ ト の

G A7 D7

ち い さ な ら あ い の わ ざ が こ の
ひ ー ご ら は い げ む わ ざ が こ の

G C D7

よ に へ い わ を も た ら す の
よ に ひ か り を か た げ る の

G (おりがえし) D7

だ だ ね き し か が や く れ い

Em C B7 C D7

な ん ぞ か に そ び え た つ

G D7 G

し ょ う ろ う あ お い で す す も う

靈南坂スカウト団歌

神と国とに 誠を尽くし
おきてを守り 人を助ける
ぼくたちスカウトの小さな愛のわがが
この世に平和を もたらすのだ
歴史輝く 靈南坂に
そびえ立つ鐘楼 仰いで進もう

体をきたえ 心をみがき
徳をやしない つねにそなえる
ぼくたちスカウトの日ごろ 励むわがが
この世に光を かかげるのだ
歴史輝く 靈南坂に
そびえ立つ鐘楼 仰いで進もう

* 靈南坂スカウト10周年の際に

靈南坂スカウトの志水 功さんが作詞・作曲されました。



Reinanzaka Scout
1947~2017